

SDGs推進お客様事例

リコージャパンの セミナーをきっかけに SDGsの取り組みを開始

コーセル株式会社 様

ESG経営に寄り添った SDGsへの取り組み

コーセル株式会社は、FA、情報通信機器など電子機器に不可欠な直流安定化電源装置を開発・生産し、国内外に提供しています。同社はESG経営に取り組んでおり、リコージャパンのSDGsセミナーをきっかけに全社でSDGsの取り組みを開始し、SDGsを積極的に推進されています。同社の常務執行役員の清澤聡様とSDGs推進を担当されている営業支援課の岩木裕子様に、SDGsへの取り組みについて伺います。

コーセル株式会社様

- 本社所在地 : 富山県富山市上赤江町一丁目6番43号
- 設立 : 1969年7月
- 従業員数(連結) : 721名(2024年5月現在)
- 事業内容 : 電子機器、電気機械器具の製造および販売

情報通信機器や産業機械などほとんどの電子機器で必要とされる、直流安定化電源装置の開発・製造を行っている。同社の主力製品は小型・軽量・高効率なスイッチング電源で、電子機器をノイズから保護するノイズフィルタも展開。エレクトロニクスの発展を支える製品を世界各国に提供している。



コーセル株式会社
取締役 常務執行役員
清澤 聡 様



リコージャパンのセミナーとオフィス見学をきっかけにSDGsの取り組みを開始

SDGs取り組み前の課題や疑問

- 会社としてESGを推進しているので、SDGsは個人の取り組みだと思っていた
- ESGを従業員一人ひとりに浸透させていくことが必要だと思い、悩んでいた

リコージャパンのSDGsセミナー & ViCreA見学*による発見や成果

- 企業活動におけるSDGsの役割や重要性を理解できた
- SDGsへの取り組みがESGの理解に繋がることがわかった
- 自社の改善活動とSDGsを結びつけられた、など

* LiveOffice「ViCreA (ヴィクレア: Value innovation Creative Area)」: リコージャパンの社内実践事例をオフィスを見学しながら体感いただく空間「LiveOffice」です。(見学は要予約)

「リコージャパンはESGや脱炭素、環境面での相談など、ソリューション面での相談先」 コーセル株式会社 取締役 常務執行役員 清澤 聡 様

ESGとSDGsの関連性を見出すきっかけに

長年にわたり環境保全活動に取り組んでいるコーセル株式会社様では、サステナビリティ推進を背景に、近年ESG経営に取り組まれています。

同社常務執行役員の清澤聡様は、「2020年に菅総理が『2050年カーボンニュートラル宣言』をしたのが大きな節目で、社会に貢献する一環として脱炭素を位置付け、ESGの観点からSDGsを認識し始めました」と話します。

同社が具体的にSDGsへの関わりを始めたのは、同社社長がリコージャパン富山支社でSDGsセミナーを受講されたのがきっかけです。SDGsの重要性を認識された社長の強い勧めもあり、清澤様もリコージャパンのSDGsセミナーを受講されました。

企業で取り組むSDGs

清澤様は、以前は「企業としてはESGにさえ取り組んでいればよく、SDGsは個人で取り組むもの、という認識でした」と話します。

しかし、セミナー受講後にその認識を改めたそうです。

「社長のSDGsへの思いとともに、ESG推進のために従業員一人ひとりの意識をどのように高めるかを考えると、SDGsへの取り組みは避けて通れないと認識しました」（清澤様）。同時に、自社でESGとSDGsを結びつける具体的なアイデアも生まれました。

「リコージャパンのViCreAで取り組む改善事例とSDGsのゴールのひも付けが印象に残り、当社にも置き換えられるのではと考えました。当社ではQCサークルという小集団改善活動を行っており、QCサークルの改善内容とSDGsのゴールを結びつけることで従業員への周知が進むと思い、社内展開を考えました」（清澤様）

組織的なSDGs推進へ

QCサークルリーダー代表会の会長である岩木裕子様は、SDGsの推進開始時を振り返ります。

「全社でSDGsへ取り組むことが決定され、全社説明会が実施されました。社内の定期環境教育にも、SDGsの項目が追加されました。その後、SDGsポスターの社内掲示や、社員証や身の回り品にカラーホイールのシールの貼付などを行っています」（岩木様）

さらに組織的にSDGsを浸透させるため、同社のQCサークルリーダー代表と提案推進委員がSDGs推進のキーパーソンに選ばれました。同社には全従業員が関わる小集団や個人の改善活動が根付いており、SDGsの浸透にQCサークルの活動の機会や組織を活用するのはとても合理的で最適、と岩木様は説明します。



コーセル株式会社 営業支援課 チームリーダー
(QCサークルリーダー代表会 会長) 岩木 裕子 様

約50名のSDGsセミナー受講と オフィス見学で浸透が加速

キーパーソンが選ばれたものの、何から始めようかと思索した岩木様は、リコージャパンのSDGsセミナーの受講を企画します。

「約50名のキーパーソンへのSDGsセミナーを開催していただけないか、とリコージャパンに相談したところ、快諾していただき、4回に分けてセミナーを実施してもらいました」（岩木様）

開催されたセミナーについて、「SDGsの基礎的な知識の講義を受けて概要をつかんだ後、ViCreAでリコージャパンの職場を見学させていただきました。実際の職場で『この改善はSDGsのこのゴールにつながる』と見える化されていて、これもSDGs、あれもSDGs、と大変わかりやすかったです。改善事例には当社のQCサークルや個



リコージャパン富山支社のSDGsセミナー（上）
LiveOffice「ViCreA」で

人提案の改善事例との類似も多く、私達でも取り入れられるのではと素直に感じられました」（岩木様）

セミナー受講後の帰りの車中でも話題になり、「すぐに取り組める内容や当社ですで行っている活動もSDGsにつながるものがわかり、少し安心した、という素直な感想も聞けました。私達にもできることが多くあると気づけました」と岩木様。SDGsへの敷居も低くなり、同社での本格的な取り組みが始まりました。

持続的成長を目指して

SDGs/ESGの推進を支援するリコージャパンとは、複合機の利用で長い付き合いがあるという清澤様。その後の関わり方にも変化があり、「SDGsをきっかけにESGや脱炭素、環境関連でのご相談など、ソリューション面での相談先という認識が強くなりました」と感想を述べられ、持続的成長につながる要素も引き続き支援してもらいたいと、期待を寄せています。

「富山県SDGs宣言」を行った同社は、社会と企業の持続的成長を目指し、さまざまな貢献活動を続けています。



2023年10月に富山県SDGs宣言に登録

※詳しい商品・サービス等の内容については、販売担当者にご確認ください。 ※本事例カタログに記載の会社名および製品名・ロゴマークはそれぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

RICOH
imagine. change.

リコージャパン株式会社
東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル
〒105-8503

<https://www.ricoh.co.jp/case/2505-cosel>

●お問い合わせ・ご用命は・・・